

【岡山芸術交流 2025 プレイバント】アーティスト島袋道浩氏の 体験型作品「飛ぶ人たち」を実施します

世界で初めて空を飛んだという表具師幸吉の石碑がある京橋で、アーティスト島袋道浩氏による体験型作品「飛ぶ人たち」を実施します。それぞれの参加者が等身大の自画像凧を自作して空に飛ばすというもので、今回、岡山では100人の参加を予定しています。

1 概要(第1回)

・凧づくり

場所:岡山芸術創造劇場 ハレノワ(北区表町3丁目)

日時:5月 9日(金)①13:00~16:00 / ②14:00~17:00

5月10日(土)③10:00~13:00 / ④13:00~16:00 / ⑤14:00~17:00

定員:各先着6名(計30名)

※取材は①・②にお越しください。

・凧揚げ

場所:旭川河川敷広場(北区京橋西詰河川敷)(予定)

日時:5月11日(日) 13:00~16:00

※雨天・強風時は中止



飛ぶ人たち Flying People(タイ・チェンライ)2023年

2 企画内容

- ・ 今回の企画は、現代アートにあまり触れることのなかった市民・県民に興味・関心を持ってもらうため岡山芸術交流2025に新設された「アーティスティック・トランスレータープログラム」の一環として実施します。
- ・ 「飛ぶ人たち」は、参加者一人ひとりが等身大の自画像を描いた凧を制作し、自らの手で空に揚げる、アーティスティック・トランスレーターに就任したアーティスト島袋道浩氏による体験型アート作品です。
- ・ これまでにタイやスペインで開催され、約300人が参加しており、日本では今回が初めての公開となります。

3 取 材

- ・ 取材を希望される方は、5月8日(木)17時までに、社名・来訪予定人数を、お電話でお知らせください。全体概要・島袋道浩氏のプロフィール等、詳細は別紙をご覧ください。

4 備 考

- ・ 岡山芸術交流は岡山城・岡山後楽園周辺の歴史・文化施設等を会場に、2016 年から3年に1度開催している都市型の国際現代美術展です。
- ・ 岡山芸術交流 2025 では、「①地元への浸透、②子どもの鑑賞、③県外・海外からの観光誘客」を重点取り組みとしています。

Artistic Director : フィリップ・パレーノ / Philippe Parreno

展覧会タイトル : 青豆の公園 / The Parks of Aomame

参 加 ゲ ス ト : 12 か国・28 組

会 期 : 2025 年 9 月 26 日(金) ~ 11 月 24 日(月)

W E B : <https://www.okayamaartsummit.jp/2025/>



Web



Instagram

【問い合わせ先】

文化振興課 藤野・矢吹 直通086-221-0033

体験型作品「飛ぶ人たち」

1:全体概要

・凧づくり

場所:岡山芸術創造劇場 ハレノワ(北区表町3丁目)

日時:5月 9日(金)①13:00~16:00 / ②14:00~17:00

5月10日(土)③10:00~13:00 / ④13:00~16:00 / ⑤14:00~17:00

5月23日(金)⑥13:00~16:00 / ⑦14:00~17:00

5月24日(土)⑧10:00~13:00 / ⑨13:00~16:00 / ⑩14:00~17:00

定員:各回6名(計60名)

※4月25日(金)現在申込者54名

・凧揚げ

場所:旭川河川敷広場(北区京橋西詰河川敷)(予定)

日時:5月11日(日)13:00~16:00

5月25日(日)13:00~16:00

人数:合計100名予定(参加者60名及び関係者40名)

※雨天・強風の場合、5月11日(日)は中止、5月25日(日)は6月1日(日)に順延

2:制作サポーター

- ・ 3月に実施した制作サポーター向けのレクチャー・ワークショップを受講した方々が、参加者の凧作りや凧揚げをサポートします。
- ・ 上記ワークショップには、県内外から学生、会社員、若手アーティスト、デザイナー、飲食店経営者など、多様なバックグラウンドを持つ11名が参加しました。



制作サポーター向けレクチャー・ワークショップの様子(3月)

3:島袋道浩プロフィール

島袋道浩 (しまぶく みちひろ) | 英語表記:Shimabuku/アーティスト

1969 年、神戸市出身。現在は那覇市を拠点に世界各地で活動。

1990 年代初頭より国内外の多くの場所を旅し、その場所やそこに生きる人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に関する映像、彫刻、パフォーマンス、インスタレーション作品などを制作。その作品は時に生き物と人間との関係にも及ぶ。詩情とユーモアに溢れながらもメタフォリカルに人々を触発するような作風は世界的な評価を得ている。岡山芸術交流 2025 で新設されたアーティストティック・トランスレーターを務め、岡山芸術交流 2016、2022 に続き、岡山芸術交流 2025 にも作家として参加予定。